

広川町地域おこし協力隊

HIROKAWA activity log 8



こんにちは。広川町地域おこし協力隊の山口です。
今回は9月20日(土)・21日(日)に行われた広川かすり祭を紹介します。

産地だから出会うものがある

今年で33回目を迎えた、年に一度のイベント「広川かすり祭」。町内外から9つの紺事業者が広川町産業展示会館2階に集結しました。1つの会場で各織元の紺が見られることはもちろん、作り手と直接話ができるのも、産地に足を運んだからこそできることと思います。普段は問屋への卸が主な織元の商品も、この2日間は直接購入できます。今年は町内3社が自社を開放し、工場見学やワークショップも開催。久留米紺を「買う」だけでなく「どんな人が、どんなところで、どんな思いで、つくっているのか」実際に現場を訪れると、その背景にあるものが見えてきます。「久留米紺」を通じて、200年余りそれを育んできた土地にも興味を持ってもらいたいという思いから、スタンプラリーを企画し周遊しながら楽しめるイベントも開催されました。



継続と変化

イベントは立ち上げる時よりも、継続することにさらなる底力が必要だと思います。長く続けられ続けるほど、関わる人は入れ替わり、お客さまや周りの状況も変わっていく中で、考え方や手段も変化が必要な時がやってきます。今回は、実行委員会が動き出す初期段階で、紺事業者が集まり、意見交換する場がありました。前向きな意見やアイデアが多く、それぞれの考え方も共有できる良い会だと感じました。形にしていくのは一歩ずつかもしれませんが、考えることをあきらめず、このイベントを支えているたくさんの人たちにより喜んでもらえるよう、毎年進化していきたいです。



経験したことがないくらいの暑さが続いた7月の終わり、涼を求めて広川ダム公園へ行きました。

浅瀬に座って流れに足を浸しながら食べたおにぎりは、思いがけず懐かしい記憶を呼び起こしてくれるよう。子どもたちの思い出話をしながら、日陰に涼しい風が通り、静かな心地よいひとときになりました。



問産業課商工観光係 ☎ 0943-32-1142



を届けてください！

広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、広川町への思い、町に対する質問・意見・提案などをお送りください。イラストや写真も大歓迎です。

問企画課企画係

☎ 0943-32-1196

必須 担当課からの回答を希望するか、希望しないか、以下のいずれかを○で囲んでください

希望する ・ 希望しない

名前 (回答を希望する場合は **必須**)
フリガナ

住所 (回答を希望する場合は **必須**)
〒 -

電話番号 (回答を希望する場合は **必須**)
() -

年齢 任意

性別

郵便はがき

〒 834-8790

<受取人>
日本郵便株式会社
広川郵便局私書箱第3号

広川町長 行



今月号の良かった記事とその理由を教えてください

料金受取人払郵便

八女局承認

455

差出有効期限
令和8年7月
24日(切手不要)

子育て支援センター「ハグハグ」



親子でハグハグ！ イベントの様子

ママ café 『絵本の選び方』



ママ café では、毎月テーマを変えて開催しています。今回は、広川町立図書館の司書が年齢に応じた絵本の選び方や読み聞かせの大切さを紹介しました。

利用者の声（野中裕美子さん）

初めての育児で不安もたくさんありますが、先生やお母さんたちとお話をしたり同じくらいの月齢のお友だちと触れ合ったりすることで、楽しく過ごしています。初めての水遊びはハグハグでした。そのほかベビーマッサージやピラティスなど、親子で楽しみながらリフレッシュできるので、これからも利用したいと思います。



ハイハイレース



年に4回開催の人気イベントで、今回も白熱したレースが繰り広げられました。次回は12月に開催予定です。ぜひご参加ください。

小麦粉粘土であそぼ



小麦粉と水を使って小麦粉粘土を作りました。赤・白・緑・黄色の4色の粘土で、感触を楽しみながら、伸ばしたり丸めたりして遊びました。

子どもの急な病気に困ったら

休日・夜間に子どもが病気になったとき、小児科医師・看護師へ相談できます。

小児救急電話相談 ☎ # 8000

子育て支援センター ハグハグ

町民交流センター「いこっと」1階
開館 / (月)～(金)・(日)、9:30～16:00
閉館 / (土)・(祝) (祝は対象者のみ)
☎ 子育て課 こどもまんなか推進室
☎ 0943-32-1194



イベントや健診の情報は QR コードから確認できます！

★ イベント情報 ★

★ 乳幼児健診 ★

